# 履修上の注意・授業科目配当表・卒業要件

### 1. ≪情報社会学科≫ 履修上の注意

### 令和 2 年度(2020)入学者用

以下に科目履修にあたっての注意点を挙げる。学生は履修細則と合わせて熟読し,卒業に際し、問題の起こらないよう留意すること。

- 1. 本学科を卒業するためには、学部規程別表 I 「授業科目表」に記載されている科目のうちから、4年次終了までに、教養科目44単位以上、専門科目80単位以上、合計124単位以上を修得しなければならない。このうち平成28年度以降入学生については必修32単位、選択必修6単位の修得が必要である。
- 2. 履修は別表「授業科目配当表」に記された配当年次に行うのが標準であるが、これにとらわれずに自分の所属より下の年次に配当された科目を履修することもできる。早期卒業を希望する場合の情報社会総合演習を除いて、所属より上の年次に配当されている科目を履修することはできない。
- 3. 1年間に履修登録できる単位の上限は48単位である。本学科では2年次から3年次,3 年次から4年次に進級するために必要な単位数を定めている。2年次終了までに28単位,3年次終了までに76単位を修得していなければ進級できない。進級要件を満たし,4年間で卒業するためには,各年次に36単位程度を修得し,4年次では情報社会総合演習の他,数科目を履修すればよくなるよう計画的に履修することが重要である。
- 4. 1~2年次に配当されている教養科目は、主として、情報、人文科学、社会科学、自然科学、外国語の5つの学問分野から構成されている。また、これとは別に大学卒業後の進路に対する支援を行う目的でキャリア・デザイン科目が設置されている。1~2年次には、学生はなるべく広い分野にわたる科目を履修することによって視野を広げていくことが望ましい。
- 5. 専攻別の選択必修科目に関する注意

経営システム専攻の学生は、教養科目のコンピュータ概論 I, コンピュータ概論 I, 法学概論、経済学概論、経営学概論、会計学概論の6科目のうち、3科目(6単位)以上を履修しなければならない。

メディア文化専攻の学生は、教養科目の英語圏文化論、ドイツの言語と文化、フランスの言語と文化、中国の言語と文化の4科目(A群とする)から1科目、音楽音響学概論、芸術論、メディア論の3科目(B群とする)から1科目、A群またはB群から別の1科目、合わせて3科目(6単位)以上を履修しなければならない。

6. 専門科目には情報社会専門科目と心理専門科目がある。情報社会学科の学生は情報社会 専門科目を中心に学ぶことになるが、心理専門科目も 20 単位までは卒業に必要な単位と して認定される。心理専門科目の配当年次については心理学科の「授業科目配当表」を 参照すること。 7. 3・4年次の演習に関する注意

3年次の情報社会一般演習は週1コマ、4年次の情報社会総合演習は週2コマ行われる。4年次には、指導教員と相談しながらテーマを定め、卒業研究を行う。原則として学生は2年間を通して同一の指導教員の演習に所属することになるので、3年次の演習の選択は慎重に行わなければならない。

8. 検定試験による単位認定については、本便覧中の「人間社会学部検定試験単位認定取扱 規程」を参照すること。

# 2. ≪情報社会学科≫ 令和2年度(2020)入学者用授業科目配当表

#### 経営システム専攻

		1	上学	: 年		2	学	: 年	
区	分	前 期		後期		前期		後期	
		授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
	情報系科目	<ul><li>⑤ 情報リテラシー I</li><li>○ コンピュータ概論 I</li><li>ネットワーク・リテラシー</li></ul>	2 2		2 2	人工知能入門 総合情報演習	2		
	学 系	<ul><li>● 英語1</li><li>※ 日本語 I</li><li>※ 日本語 II</li><li>※ 日本語 fi I</li><li>異文化コミュニケーション(海外研修)</li></ul>	1 2 2 2 2	※ 日本語IV	1 2 2 2	◎ 英語2 TOEIC I	1	◎ 英語演習2 TOEIC II	1
教養	デザイン科目	ボランティアの研究	2		2	インターンシップ 人生と職業	2 2	インターンシップ	2
科目	一般教養科目	○ 法学概論 文化人類学 音楽音響学概論 身近な物理 学育さ社学 自己理解の心理学 播社ジネス論 仏教精神 I 体育実技 I	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 1	哲学概論 政治学概論 世界の宗教と歴史 20世紀の世界史 グローバル社会と地誌 化学と生活	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	○ 会計学概論 芸術部 仏ジェンダー語と文化 科学技画無と文化 科学技画無法 日本史概 報 西洋史史概論 西洋史概論 西洋史概論	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	フランスの言語と文化 英語圏文化論 中国の言語と文化 スポーツ文化論 20世紀の日本史 浄土教の歴史と文化 社会学概論 郷記演習	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2
	l	計	36	<del>il</del>	39	計	30	計	28
		○ 基礎演習 I	2	◎ 基礎演習Ⅱ	2	◎ プロジェクト演習 I	2	◎ プロジェクト演習Ⅱ	2
専門科目	情報社会専門科目	<ul> <li>● 情報学概論 プログラシグ入門 現代経済史 映像と音楽 ディジタルデザイン基礎演習 音楽情報演習 I</li> </ul>	2 2 2 2 2 2 2 2 2	ネットワーク社会論 情報と職業 財務管理論 平面構成演習	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	データ解析法 民法A	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	情報セキュリティ 情報処理心理学 民法B 企業と業界の分析 II テキスト情報処理 行政学 国際法 映像文化論 アート・ジュニケーション論 音響環境論証 II 空間構成演習 II 空間構成演習 II 空間達史特講 東洋史特講 現代社会と倫理 3DCG演習 映像表現	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2
								情報社会特講Ⅱ	2
		<u>하</u>	16 52	被協	22	計		計	48

(注記1)必選欄の◎印は, 必修科目を示す。

ただし、聴覚に障害をもつ学生は、英語演習1に代えて \*印の科目を履修することができる。

(注記2)必選欄の〇印は、選択必修科目を示す。 教養科目の法学概論,経済学概論,経営学概論,会計学概論,

コンピュータ概論 I・IIの6科目のうち、3科目(6単位)が選択必修である。

			3学年			1学		
X	分	前期	後期		前期		後期	
	語学系科目	授業科目  ② 英語3  プラクティカル・イングリッシュ I ビジネス英語入門	単位 授業科目  1 ◎ 英語演習3  1 ブラクティカル・イングリッシュ II  1 英語記事・論文読解	単位 1 1 1	22/81179	単位	授業科目	単位
教養科目	デザイン科目	キャリアと自立	2 総合教養演習 現代社会理解	2 2				
	一般教養科目	計 ◎ 情報社会一般演習 I	5 計 2 ◎ 情報社会一般演習Ⅱ	7 2	計 ◎ 情報社会総合演習 I		計 ◎ 情報社会総合演習Ⅱ	0
専門科目	情報社会専門科目	人文地理学 現代社会と宗教 経質管理論 ビジネス明連法 知的財産権法 システム管理 企業組織における人間行動 マルチメディア論 映像環館論 映像制作演習 デザイン演習 情報社会特講Ⅲ 情報社会特講V	2 ネットワーク管理 マーケティング論 データベース論 と ーザジネス論 情報メディア演習 上海等型組論 国際関係論 型 国際関係論 型 哲学の順定 2 自然地理 に 計畫学・地話学 に 特議 に 情報社会特講 い に 情報社会特講 に 1	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2				**
		# <del>*</del>	30計	28	## #!		計 計·	4

(注記3)必選欄の※印は、留学生の履修科目を示す。 (注記4)必選欄の空白は、選択科目を示す。 (注記5)必選欄の率印は、聴覚に障害をもつ学生の履修科目を示す。 (注記6)必選欄の率印は、聴覚に障害をもの学生の履修科目を示す。 (注記6)心理専門科目については、心理学科の配当表を参照。 (注記7)各年次の科目配当は、前後期での変更が発生する場合があるので注意すること。

※【再履修科目】 前期 必選 授業科目 ◎ 情報社会総合演習Ⅱ(再) 4

# 2. ≪情報社会学科≫ 令和2年度(2020)入学者用授業科目配当表

### メディア文化専攻

X			1 🖺	4年			2 学	: 年	
	: 分	前期		後期		前期	, ,	後期	
	ļ	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
	情報系科目	<ul><li>◎ 情報リテラシー I コンピュータ概論 I ネットワーク・リテラシー</li></ul>	2 2 2	<ul><li>⑥ 情報リテラシー II コンピュータ概論 II マルチメディア・リテラシー</li></ul>	2 2 2	人工知能入門 総合情報演習	2		
	語学系科目	<ul><li>○ 英語1</li><li>※ 日本語 I</li><li>※ 日本語 I</li><li>※ 日本部 I</li><li>※ 日本事情 I</li><li>異文化コミュニケーション(海外研修)</li></ul>	1 2 2 2 2	<ul><li>○ 英語演習1</li><li>※ 日本語Ⅲ</li><li>※ 日本語Ⅳ</li><li>※ 日本語Ⅳ</li><li>※ 日本字情Ⅲ</li><li>* コミュニケーション演習</li></ul>	1 2 2 2 1	◎ 英語2 TOEIC I	1	◎ 英語演習2 TOEIC II	1
教養	デザイン科目	ボランティアの研究	2	ボランティアの研究	2	インターンシップ 人生と職業	2 2		2
科目	一般教養科目	○ 音楽音響学概論 文化表演論 身近な物理 字由を基準を表示。 自己理解の心理学 福祉特計 体育実技 I 体育実技 I	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 1	経済学等概論 経済学概論 哲学概論 也学概論世界史 世界の宗教と歴史 グローバル社会と地誌 化学と生活組み 心理特神Ⅱ 仏教再 は新春東技Ⅱ	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 1 2 1	○ 芸術論 ○ ドイツの言語と文化 仏教の歴史と思想 ジェンダー論 会計学技憲概論 再本史・概 編 西洋史・ 概 編  東	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	○ フランスの言語と文化 ○ 英語圏文化論 ○ 中国の言語と文化 スポーツ文化論 20世紀の日本史 浄土教の歴史と文化 社会学概論 簿記读習	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2
		計		#	39	計		計	28
		<ul> <li>● 基礎演習 I</li> <li>② 情報学概論         プログラミング人門         ディジタルデザイン基礎演習         音楽とシティアの歴史         音楽情報演習 I         映像と音楽         現代経済史</li> </ul>	2 2 2 2 2 2 2 2 2	◎ 基礎演習Ⅱ プログラミングⅠ 平面構成演習 テクノロジーと音楽 コンピューの画像処理 Webデザイン基礎演習 音楽情報報演習Ⅱ 情報の分析に活用 ネットワーク社会論	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	ディジタルサウンド演習 I Webデザイン応用演習 映像・音楽の総合表現と人間 アート批評論 I	2 2 2 2 2 2 2 2	3DCG演習 ディジタル映像表現 音響環境論Ⅱ ディジタルサウンド演習Ⅱ 空間構成演習Ⅱ 空間構成演習Ⅲ アート批評論Ⅱ	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2
専門科目	情報社会専門科目			情報と職業財務管理論	2 2 2	音楽文化論 現代経済論 民法A解析法 情報者ットワーク論 経営情報治 経営情報治 企業と業理学 情報社会特諾 I	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	アートコミュニケーション論 民法B 行政法 行政学 国際法 情報関連法 情報セキュリティ 企業と業界の分析Ⅱ 情報処理心理学	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2
科	報社会専門科	計			2	現代経済論 民法A データ解析法 情報ネットワーク論 経営情報システム 経営情報論 情報システム論 を選挙ステム論 企業と業界の分析 I 深層心理学	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	アートコミュニケーション論 民法B 行政学 国際法 情報セキュリティ 企業と業界の分析Ⅱ 情報処理・理学 デキスト情報処理 現代注史特講 東洋史特講 情報社会特講Ⅱ	

(注記1)必選欄の◎印は、必修科目を示す。 ただし、聴覚に障害をもつ学生は、英語演習1に代えて \*印の科目を履修することができる。

\*\*\* 中の行目を履じずることができる。 (注記2) 必選欄の○印は、選択必修科目を示す。 教養科目の英語圏文化論、ドイツの言語と文化、フランスの言語と文化、 中国の言語と文化の4科目(A群とする)から1科目、音楽音響学概論。 芸術論、メディア論の3科目(B群とする)から1科目、A群またはB群から 別の1科目、合わせて3科目(6単位)が選択必修である。

Г			3学	华年			4学	:年	
⊵	(分	前 期		後期		前 期		後期	
		授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
	語学系科目	<ul><li>英語3 ブラクティカル・イングリッシュ I ビジネス英語入門</li></ul>	1 1 1	<ul><li>◎ 英語演習3 ブラクティカル・イングリッシュⅡ 英語記事・論文読解</li></ul>	1 1				
教養科目	デザイン科目	キャリアと自立	2	総合教養演習 現代社会理解	2 2				
	一般教養科目	計	5	ā <del>l</del>	7	計	0	計	0
		◎ 情報社会一般演習 I	2	<ul><li>○ 情報社会一般演習 II</li></ul>	2		4		4
専門科目	情報社会専門科目	マルチメディア論 映像環境論 映像制作演習 デザインド・プログラミング演習 イ文化型学学教 経営管理制連法 知的財産権権 システム管理 企業組織や特講 情報社会特講 V	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	情報メディア演習 哲学の源流 自然地理学 法学応用論 国際限ワーク管理 ネットワークを通論 ネットワークを通論 データベース論 eービジネス論 情報社会特講IV 情報社会特講VI	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2				
1		7	30	#	28	ita.	4	計-	4
ı		<b>a</b>	35	計	35	<u> </u>	4	<del>}</del>	4

(注記3) 必選欄の※印は、留学生の履修科目を示す。 (注記4) 必選欄の空白は、選択科目を示す。 (注記5) 必選欄の率印は、聴覚に障害をもつ学生の履修科目を示す。 (注記6) 心理専門科目については、心理学科の配当表を参照。 (注記7) 各年次の科目配当は、前後期での変更が発生する場合があるので注意すること。

※【再履修科目】 前 期 授業科目

# 3. ≪情報社会学科≫ 卒業要件一覧表

# 【令和2年度(2020)】入学者適用

区分	必修	選択必修	選択	合計
教養科目	10単位	6単位	28単位	44単位
専門科目	22単位	-	58単位	80単位
合計	32単位	6単位	86単位	124単位

### 1. 《心理学科》 履修上の注意

### 令和2年度(2020)入学者向け

以下に科目履修にあたっての注意点を挙げる。学生は履修細則と合わせて熟読し、卒業 に際し、問題の起こらないように留意すること。

- 1. 卒業要件を満たすには、学部規程別表 I 「心理学科授業科目表」に記載されている科目のうちから、4年次終了までに、教養科目44単位以上、専門科目80単位以上、合計124単位以上を修得しなければならない。卒業に必要な単位の内訳については「卒業要件一覧表」を参照すること。
- 2. 履修は「授業科目配当表」に記された配当年次に行うのが標準であるが、自分の所属 年次より下の年次に配当されている科目を履修することもできる。早期卒業を希望す る場合の総合研究演習を除いて、所属より上の年次に配当されている科目を履修する ことはできない。
- 3. 1年間に履修できる単位の上限は 48 単位である。3 年次に進級するためには、2 年次終了までに、卒業に必要な単位のうち 28 単位以上を修得しなければならず、また、4 年次に進級するためには、3 年次終了までに 76 単位以上を修得しなければならない。進級要件を満たし、4 年間で卒業するためには、各年次に36 単位程度を修得し、4 年次では総合研究演習の他、数科目を履修すればよくなるよう計画的に履修することが望ましい。

#### 4. 教養科目について

教養科目については、広く深い見識を身につけることを目的として、多岐にわたる 学問領域の科目が設定されている。必修科目に設定されている英語や情報系の科目は 必ず配当年次に履修すること。

#### 5. 心理専攻科目について

専門科目のうち「心理専門科目」については、その専門性により年次配当がなされている。また、専攻ごとに必修科目と選択必修科目とが設置されている。必修科目については、必ず配当年次に履修し単位を修得することが重要である。選択必修科目については、各専攻の指定科目のうち10科目以上の単位を修得しなければならない。

#### 6. 演習・実験などの科目について

心理専門科目の必修科目として各年次に設定されている以下の科目は、心理学科に おける主要な科目である。授業の概要や進め方について第1回目の授業で詳しく説明 されるので、必ず出席すること。

#### a) 基礎演習 I · II (1年次)

心理学入門と位置づけられる演習科目であり、心理学科の複数の教員がそれぞれ異なる内容を指導する。学生は基礎演習のみに使用される少人数クラス (班と呼ぶ) に分けられる。各内容で使用する教室が固定されているので、毎回指定された教室に行くことになる。

#### b) 心理学実験・心理演習(2年次)

心理学実験は心理学的な実験について、心理演習は心理検査やコミュニケーション についての知識や技法を実践的に学ぶ科目である。いずれも心理学科の複数の教員が それぞれ異なる内容(種目と呼ぶ)を指導する。学生はこれらの科目のみに使用され る少人数クラス (班と呼ぶ) に分けられる。各種目で使用する教室が固定されている ので、毎回指定された教室に行くことになる。

#### c) 一般実験演習 I • II (3年次)

担当教員の指導のもとに専門的研究を行う科目である。一般実験演習は、基礎演習と心理学実験、心理演習の修得単位数について一定の基準を満たした者のみ履修できる。また、一般実験演習の担当教員は、2年次末に学生の希望を調査し、その結果に基づき学科で決定する。教員によって講義番号が異なるので、最終的に決定した担当教員の科目を履修すること。

#### d) 総合研究演習 I · II (4年次)

総合研究演習  $I \cdot II$  は週 2 コマの授業として行われる。この科目では、担当教員の指導のもとに、卒業研究、または卒業研究に相当する研究成果の報告書を作成する。通常 3 年次の一般実験演習から担当教員の変更はないので、一般実験演習と同じ教員の科目を履修すること。

#### 7. 情報社会専門科目について

専門科目のうち「情報社会専門科目」については、20 単位までが卒業に必要な単位 として認定される。情報社会専門科目の配当年次については、情報社会学科の授業科 目配当表を参照すること。

#### 8. 選択科目について

選択科目を選ぶにあたり、はじめから興味のある領域の科目のみにしぼってしまうのは、大学で学ぶうえで好ましいことではない。広い範囲の科目をバランスよく履修するよう心がけること。

#### 9. 検定試験による単位認定について

検定試験による単位認定については「人間社会学部検定試験単位認定取扱規程」を 参照すること。

#### 10. 認定心理士および認定心理士(心理調査)について

(公社)日本心理学会による認定心理士および認定心理士(心理調査)の資格の取得を希望する者は、それぞれの単位認定基準に従い指定科目を履修する必要があるので注意すること。

#### 11. 公認心理師指定科目について (臨床心理専攻)

公認心理師の資格取得を目指す臨床心理専攻の学生は、学部規程別表IV「公認心理師指定科目表」に記載されているすべての科目を履修しなければならない。なお、公認心理師資格試験の受験資格を取得するには、これらすべての科目の単位を学部在籍中に修得しなければならないため、充分に注意すること。

#### 12. 心理実習 I · II (臨床心理専攻)

3年次配当科目の心理実習は、臨床心理専攻の学生のみが履修できる。この科目では、心理臨床の仕事を理解するために、学内外の実習施設において、実習担当教員や施設の実習指導者のもとで現場体験を行う。この授業は通年で開講されるため、Ⅰ・Ⅱのどちらか片方のみの履修はできない。履修希望者に対しては、それまでの授業態度や成績等を踏まえ、2年次末までに履修の可否を学科で判定する。

# 2.《心理学科》 令和2年度(2020)入学者用授業科目配当表

# ビジネス心理専攻

Is	ζ		1 -	学年			2 労	全年	
1		前 期	後期		前期		後期		
5	子	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
	情報系科目	<ul><li>◎ 情報リテラシー I コンピュータ概論 I ネットワーク・リテラシー</li></ul>	2 2 2	<ul><li>⑤ 情報リテラシー II コンピュータ概論 II マルチメディア・リテラシー</li></ul>	2 2 2	人工知能入門 総合情報演習	2 2		
	語学系科目	<ul><li>● 英語1</li><li>※ 日本語 I</li><li>※ 日本語 I</li><li>※ 日本事情 I</li><li>異文化コミュニケーション(海外研修)</li></ul>	1 2 2 2 2	<ul><li>● 英語演習1</li><li>※ 日本語Ⅲ</li><li>※ 日本語Ⅳ</li><li>※ 日本事情Ⅱ</li><li>* コミュニケーション演習</li></ul>	1 2 2 2 1	⊚ 英語2 TOEIC I	1 1	⊚ 英語演習2 TOEICⅡ	1
教養科	キャリアデザイン科目	ボランティアの研究	2			インターンシップ 人生と職業	2 2	インターンシップ	2
. 囯	一般教養科目	文化人物理 身近松和科学 法学研的科学 法学概论分本ス論 音楽音神解 仏教理理解 化本型理解 体育工程 体育工程 技 1	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 1	心理学長高 世界の宗教と歴史 経済学概論 政治学概論 政治学概論 20世紀の世界史 グローバル社会と地誌 化学と生活 生命の社組み 教育と社会 仏教精神Ⅱ 体育実技Ⅱ	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	仏教の歴史と思想 ジェンダー論 科学技術史 日本学国書版論 芸術学館 版論 芸術学教授 西洋史・根 西洋史・根 西洋・東学・東 西洋・東学・東 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	スポーツ文化論 20世紀の日本史 社会学版論 メディア論 浄土教の歴史と文化 脳と行動造と機能及び疾病 傳記液習 数理基礎 数理基礎 数理基礎 大学、スポーツを表現を表現した。 東京語の表現を表現した。 東京語の表現を表現を表現した。 東京語の表現を表現を表現した。 東京語の表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2
		#1	34	11	39	計		計	
		◎ 心理学概論 I	2	◎ 心理学概論Ⅱ	2	<ul><li>○ 心理学実験</li><li>○ 心理学研究法基礎</li></ul>	2	◎ 心理演習	2
		◎ 基礎演習 I (学習法基礎)	2	◎ 基礎演習Ⅱ(課題演習)	2	(心理学研究法 I) ○ 認知心理学	2	◎ ビジネス心理学	2
		◎ 心理学統計法 I	2	◎ 心理学統計法Ⅱ	2	(知覚·認知心理学Ⅱ)	2	○ 心理調査概論	2
						発達心理学	2	言語心理学 (学習・言語心理学Ⅱ)	2
						臨床心理学 (臨床心理学概論)	2	○ 情報処理心理学	2
						深層心理学	2	○ 教育心理学	2
νĹ						学習心理学 (学習·言語心理学 I)	2	福祉心理学	2
耳耳	里					知覚心理学 (知覚·認知心理学 I)	2	精神疾患とその治療	2
月禾						○ 社会心理学	2	心理学と職業	2
T E						映像・音楽の総合表現と人間 公認心理師の職責	2 2	現代社会と倫理	2
						関係行政論	2		
		tina tina		÷1		計		計	
		äl	40	n n	45	計	54	170	48

Б	X.		3 4	学 年			4 È	学 年	
		前期		後期		前 期		後期	
分		授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
	語学系科目	<ul><li> 英語3</li><li>ブラクティカル・イングリッシュ I ビジネス英語入門</li></ul>	1 1 1	<ul><li>● 英語演習3</li><li>ブラクティカル・イングリッシュⅡ</li><li>英語記事・論文読解</li></ul>	1 1 1				
教養科目	キャリアデザイン科目	キャリアと自立	2	現代社会理解 総合教養演習	2 2				
	一般教養科目	91.	-	91.	7	g),		gi.	
	Щ	● 一般実験演習 I	5	<ul><li>○ 一般実験演習 II</li></ul>	7	計 ○ 総合研究演習 I	4	計 ◎ 総合研究演習 II	0 4
野耳門	心里專門科目	「	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2		2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	♥ NO CHINIZIA ELI		S ROLINITURE II	
H		抽	26 31	計		計		計	4
		) 必帰爛の○FDけ 必修利日去		PI		, and the second		【ビジネス心理	

(注記1) 必遵欄の⑤印は、必修科目を示す。 (注記2) 必遵欄の②印は、遵択科目を示す。 (注記3) 必遵欄の○印は、専攻別選択必修科目を示す (10科目選択)。 (注記3) 必遵欄の※印は、留学生の履修科目を示す。 (注記5) 必遵欄の※印は、留学生の履修科目を示す。 (注記5) 必遵欄の※印は、聴覚に原语をもつ学生が履修できる科目を示す。 (注記6) 情報社会専門科目については、情報社会学科の配当表を 参照せよ。

(注記7) 各年次の科目配当は、前後期での変更が発生する場合があるので注意すること。

※【再履修科目】 前 期 必選 授業科目 単位

# 2.《心理学科》 令和2年度(2020)入学者用授業科目配当表

# 臨床心理専攻

Б	χ.	水心在子久	1 -	学年			2学年				
l '		前 期		後期		前期		後期			
5	寸	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位		
	情報系科目	<ul><li>◎ 情報リテラシー I コンピュータ概論 I ネットワーク・リテラシー</li></ul>	2 2 2	<ul><li>⑥ 情報リテラシー II コンピュータ概論 II マルチメディア・リテラシー</li></ul>	2 2 2	人工知能入門 総合情報演習	2 2				
		<ul><li>● 英語 I</li><li>※ 日本語 I</li><li>※ 日本語 II</li><li>※ 日本事情 I</li><li>異文化コミュニケーション(海外研修)</li></ul>	1 2 2 2 2	<ul><li>● 英語演習1</li><li>※ 日本語Ⅲ</li><li>※ 日本語Ⅳ</li><li>※ 日本語Ⅳ</li><li>※ 日本事情Ⅱ</li><li>* コミュニケーション演習</li></ul>	1 2 2 2 1	◎ 英語2 TOEIC I	1	⊚ 英語演習2 TOEIC II	1 1		
教養科	キャリアデザイン科目	ボランティアの研究	2			インターンシップ 人生と職業	2 2	インターンシップ	2		
.田	一般教養科目	文化人類学 身近な粉科学 法学研究学 活学概学 活体注音響学概論 台で記事研究 の の の の の の の の の の の の の の の の の の の	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 1	心理学入門 哲学概論 世界の宗教と歴史 経済学概論 政治学概論 政治学概論 20世紀の世界史 グローバル社会と地誌 化学と生活 生命の社組み 教育と社会 仏教精神Ⅱ 体育実技Ⅱ	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	仏教の歴史と思想 ジェンダー論 科学技術史 日本医療 芸術管 芸術管 田本史概論 東洋史概論 西洋史東概論 西洋文史を	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	スポーツ文化論 20世紀の日本史 社会学版論 メディア論 浄土教の歴史と文化 脈と行動 ・ (株の構造と機能及び疾病 薄記漢習 数理基礎 数理基礎 数理基礎 大変計画の言語と文化 中国の言語と文化 英語圏文化論	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2		
		計	34	計 ○ 心理学概論 II	39	計 ○ ●心理学実験	30	計	28		
		<ul><li>●心理学帳論 I</li><li>○ 基礎演習 I (学習法基礎)</li></ul>	2	<ul><li>○ 心理子候編Ⅱ</li><li>○ 基礎演習Ⅱ(課題演習)</li></ul>	2	◎ ●心理学研究法基礎	2	<ul><li>●心理俱省</li><li>ビジネス心理学</li></ul>	2		
		◎ ●心理学統計法 I	2	<ul><li>◎ ●心理学統計法 II</li></ul>	2	(心理学研究法 I ) ●認知心理学	2	心理調査概論	2		
						(知覚·認知心理学Ⅱ) ●発達心理学	2	●言語心理学	2		
						◎ ●臨床心理学	2	(学習·言語心理学Ⅱ) 情報処理心理学	2		
						(臨床心理学概論) 深層心理学	2	○ 教育心理学	2		
νĹ	٠,					<ul><li>●学習心理学 (学習・言語心理学 I)</li></ul>	2	○ ●福祉心理学	2		
現	里					<ul><li>●知覚心理学 (知覚・認知心理学 I)</li></ul>	2	○ ●精神疾患とその治療	2		
1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	· 引					(以見:能)和(元年子17 社会心理学 映像:音樂の総合表現と人間 ●公認心理師の職責 ●関係行政論	2 2 2 2 2	心理学と職業 現代社会と倫理	2 2		
		#1	6	<u>th</u>	6	計	24	計	20		

Б	ζ		3 4	学 年	4	4 Ė	学 年		
l '		前 期		後期		前 期		後期	
5	亍	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
	語学系科目	<ul><li>英語3</li><li>ブラクティカル・イングリッシュ I ビジネス英語入門</li></ul>	1 1 1	<ul><li>● 英語演習3 ブラクティカル・イングリッシュ II 英語記事・論文読解</li></ul>	1 1 1				
教養科目	キャリアデザイン科目	キャリアと自立	2	現代社会理解 総合教養演習	2 2				
	一般教養科目					a.			
Н		<ul><li>計</li><li>○ 一般実験演習 I</li></ul>	5	計	7	計 ○ 総合研究演習 I	4	計 ○ 総合研究演習 II	4
心理更月禾目	里写月半	② 一般実験演習 「 ● 人格心理学 「 ● 人格心理学 「 ● 人格心理学 「 ● 心理学的支援法 心理データ解析法 ● 健康 医療心理学 ● 犯罪心理学 (司法・犯罪心理学 ● 神経・生理心理学 ● 障害者・障害児心理学 立ミュケーション技法 ● 心理的アセスメント 「 ● 心理象習 「 現代社会と宗教	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	● 一般実験演習Ⅱ  ● 社会・集団・家族心理学 ● 心理学研究法正Ⅱ 消費者理解の ● 産業・犯理学 ● 産業・犯職・理学 ● 産業・犯理学 ● 産業・犯理学 ● 産業・犯職・理学) ● 動機づけと情動 (感情・人格心理学 I) ● 学校・理学・ビジネス・2理学・ビジネス・2理学・ビジネス・2理 II 哲学の源流		◎ 総合研究演習 I	4	◎ 総合研究演習Ⅱ	4
H		***	27 32	計		#		台	4
	_	) 必帰郷の⊝印け 必修利日本		н		н		【臨床心理	

(注記1) 必選欄の⑥印は、必修料目を示す。 (注記2) 必選欄の②印は、選択科目を示す。 (注記3) 必選欄の②印は、専攻別選択必修科目を示す(10科目選択)。 (注記4) 必選欄の※印は、國学生の関修科目を示す。 (注記5) 必選欄の※印は、聴覚に障害をもつ学生が履修できる科目を示す。 (注記6) ●印は、公認心理師指定科目を示す。 (注記7) 情報社会専門科目については、情報社会学科の配当表を 参照せた。

(注記8) 各年次の科目配当は、前後期での変更が発生する場合があるので注意すること。

※【再履修科目】 前 期 授業科目 総合研究演習Ⅱ(再)

-51-

# 3. 《心理学科》 卒業要件一覧表

### 【令和2年度(2020)】入学者適用 (ビジネス心理専攻)

区分	必修	選択必修	選択	合計
教養科目	10 単位	_	34 単位	44単位
専門科目	32単位	20単位	28単位	80単位
合計	42単位	20単位	62単位	124単位

# 【令和2 年度(2020)】入学者適用 (臨床心理専攻)

区分	必修	選択必修	選択	合計
教養科目	10 単位	_	34 単位	44単位
専門科目	34単位	20単位* <sup>注1</sup> 19単位* <sup>注2</sup> 18単位* <sup>注3</sup>	26単位* <sup>注1</sup> 27単位* <sup>注2</sup> 28単位* <sup>注3</sup>	80単位
合計	44単位	20単位* <sup>推1</sup> 19単位* <sup>推2</sup> 18単位* <sup>推3</sup>	60単位 <sup>*注1</sup> 61単位* <sup>注2</sup> 62単位 <sup>*注3</sup>	124単位

<sup>\*</sup>注1 実習科目を履修しない場合 \*注2 実習科目を1科目履修する場合 \*注3 実習科目を2科目履修する場合